

会議録（分科会）

令和5年度 芳賀町学校運営協議会(分科会) 会議録			
日 時	令和5年6月29日(木) 11:00 ~ 12:30		
場 所	芳賀東小学校 会議室		
出席者	[学校運営協議会委員] 稲川 浩司 岡田 由美子 大峯 俊幸 今井 由佳 岩崎 進 小山 佳子 岩村 智織 (協議会委員出席 7名)		
	[学校関係出席者] 大根田 裕一 半田 高代 高久 誠 [生涯学習課] 小林 春彦		
司 会	半田 高代	書 記	半田 高代
概 要	1 校長あいさつ(学校経営進捗状況) 2 懇談(自己紹介を含む。) 3 学校案内(授業の様子も参観) 4 給食試食		
協議内容			
<p>稲川：学校運営委員会に所属しているが、基礎になっているのは、小学校のPTA会長をしたこと。楽しくできた。PTA活動の改善もした。「でんじろう」の理科教室のイベントを企画し子どもたちに大受けした。現在、地域スポーツの会長をしている。地区内のオリエンテーリングの企画などを行った。そのような活動を通して、人と人とのつながりが広がるとよいと思っている。昨年度の運動会では、地元のお囃子会を呼んで全校生で盆踊りを踊ったが、よかった。続けてほしい。</p> <p>岡田：読み聞かせボランティア活動や梨農家見学の受け入れを5～6回行ってきた。梨農家受入では、他の農家にも受入の機会を回し、受け入れる農家があれば自分が受け入れるとよいのかと考えるようになった。子どもたちと地域の関わりを、いろいろな人に協力してもらおうとよいのではないか。このような活動をすることで、受ける側も学びになる。</p> <p>PTA活動で、PTAソフトバレーボールがあったが、保護者同士の交流ができ、すばらしい活動だった。</p> <p>また、学校への出前教室も実施している。依頼があれば受けたいと思っている。</p> <p>大峯：学校運営協議会委員として1年目であるが、メンバーの中にお世話になった方々がいて心強い。祖母井小出身で夏祭りに参加して育った。大通りが歩行者天国のようで楽しい思い出として心に残っている。今年度は町の納涼祭が復活する。</p> <p>地域に貢献していきたいと思っている。</p> <p>今井：ボランティアコーディネーターとして2年目になる。今年度は、形を整えていきたいと思っている。学校からの要請が月によって集中することがある。メンバー一人一人の負担が心配になる。続かなくなるので、無理しないように伝えている。</p>			

2009年から読み聞かせボランティアを続けている。毎年、少しずつ生徒が違ってきていると感じている。担任のカラーも感じる。楽しい。

PTAの役員もやってきたが、会長さんの色が大きく影響していたように思う。これも、楽しかった。

稲川：学校支援ボランティアで声を掛ける会員は何人くらいいるのか。

今井：20人くらい。グループLINEを組んでいる。組んでいない人には電話連絡をしている。

稲川：町と連携して支援していくとよいのではないか。

岩崎：現在PTA副会長。稲川さんが会長の時に改革したことが今も引き継がれていて、安全部の部長も担っている。

米農家で、農音さんの隣で稲作をしている。学校への協力は、誰にも満遍なく公平にと考えると難しいのではないか。いろいろな人に指導してもらうことで、評価も出てきてしまうと思う。流れの中で交換するのはよいが、無理して公平にしようとしなくてよいのではないか。学校も、公平にと気にしないでよいと思う。ボランティアは無理しないでやるのが大切で、無理をすると、辛くなるし楽しくないと思う。

上延生では太鼓をたたく人がいないため、西町のお囃子の録音を借りていた。今年は、高久先生が協力しているので楽しみにしている。よろしくお願いします。

小山：子育て支援センター職員。「子育て広場」「プレイパーク」を開催している。乳幼児から多世代のコミュニケーションの場をつくっている。8ヶ月の乳幼児が先日参加したときには、小学生が喜んでいて。今の子は、言葉のキャッチボールが苦手な傾向がある。オープンな場所での交流も苦手な傾向がある。目を見ないで話す子も多い。しかし、コミュニケーションを重ねていく中で変容していく。繰り返し行うことが大切である。

岩村：東小の分科会に参加するのは3回目。

陶芸教室の講師をしたが、東小からも3名、3回参加してくれた。静かだった子たちが、だんだん変容していった。指導者としても嬉しかった。

北小でお掃除ボランティアと1年生の給食支援をしている。給食支援は1日2名ずつ。ボランティアは14名。仕事とプライベートを優先し、できる範囲で活動するように伝えている。学校からもそのように言ってくれている。2年生の町探検にも協力した。

給食ノート・お掃除ノートを作り、感じたことなどを記入し、教頭先生とやり取りをして、問題点があったら解決をしてきた。また、教頭先生と地域連携教員と3名でグループLINE組んで連携し合い、楽しく活動している。

生涯学習課 小林：学校支援ボランティアのLINEをつくることを、町教委の松本指導主事と計画中である。学校の垣根を越えて支援を拡げたい。無理をすると続かない。納得してやらないと続かない。

学校運営協議会の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。

校長：何かあったら、いつでも御意見をいただきたい。

今後とも、よろしくお願ひいたします。